

令和3年10月1日



第161号



あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumashou/>

杉並区立天沼小学校



アウトプットのすすめ

副校長 山内江美

ある研修会で「コミュニケーション力を高めるには？」という内容の講演を開き、その際に紹介された本を読んだところ、『なるほど!』と思うところがいくつもありました。もともとこの本は、10代それも中・高校生向けに書かれたものですが、大人が読んでも身につまされる部分もあり、物事をとらえる際に多方面から見ることにヒントにもなるかと思いましたが紹介します。

まずは、記憶に関することです。日常でよく行っているのは、話を聞いてその内容をメモに残す、子どもたちの様子を記録に残す、授業の内容をノートに書く、など「書く」という動作です。この書くという動作は、記憶するための手段として理にかなっているとのこと。人間の脳は、見たり聞いたりしただけより、書いたり話したりした方がより忘れにくくなるそうです。しかしながら、「あのメモどこ行ったかしら？」なんて、書いたことは覚えているのに、そのメモが見当たらないなんてこともありますよね。これは、書くことで忘れにくくなるのであって、使わないでいると、情報は脳内で捨てられるようになっていくそうです。この、書くという動作がアウトプットであり、ほかにも、話す・行動することで、記憶の強化につながるそうです。8月に行われたCS主催のサマースタッフ研修でも話題に出ましたが、会話の頻度と平均正答率の高さの結果の裏には、学んだことを誰かに話したり、教えたりすることで、学習記憶が強化されていたこ

との表れかもしれません。

次に、コミュニケーションに関することです。『よいアウトプットをしていればよい人間関係ができ、悪口のようなネガティブなアウトプットをしていれば、当然、人間関係は悪化していきます。』とありました。自分の思っていることは、言葉や文字を通して相手に伝わるので、伝え方を誤ればトラブルの原因にもなりかねないというものです。私自身、子どもたちのけんかの仲裁をすることがよくありますが、双方の話を聞いてみると、「それじゃあ相手には伝わらないよね。」「本当は、〇〇したかったんだね。」と、助け舟を出すことが多々あります。よほどのことがない限り、最後は相手の意図を汲み、自身の行動を反省し、次への対策を確認し、仲直りして戻っていきます。

子どもたちのみならず私たち大人も、成長する過程には様々なアウトプットの経験があるのではないのでしょうか。try&errorで数をこなすことも一つの手ですが、この本には、楽しかったこと頑張ったことなど、ポジティブなことを書いたり話したりする習慣をつけることで、自己肯定感を高められることや、失敗をしたときにフィードバックすることで、失敗を経験値に変えたりすることができることなどが、詳しく書かれていました。今後は、子どもたちのアウトプット力を磨く機会を、学校や家庭でぜひ与えていきたいと思っています。

出典・引用: 極(エッセンシャル)アウトプット「伝える力」で人生が決まる 樺沢紫苑著 小学館

緊急事態宣言が解除されても、感染症対策は継続して行っています。(検温・手洗いの徹底、密を避けた学習活動、不織布マスク・手指消毒の推奨、登校時間帯を設けるなど)

また、タブレットを活用したオンライン授業や、Formsを活用した欠席連絡なども検討中です。

お知らせ

4年3組の金小寛司先生が退職となり、奥田利香(おくだりか)先生が9月から担任となりました。

** 今月の目標 **

生活

進んで仕事にはげみましょう

保健

目を大切にしましょう

給食

旬の食べ物について知ろう

10月の行事予定



日	曜	行事予定
1	金	都民の日
2	土	小学校サイエンスグランプリ(～4月)
3	日	
4	月	5時間授業
5	火	フォ 安全指導
6	水	特時
7	木	5時間授業 オリパラ教室56
8	金	5時間授業/富士学園説明会(15:00)5年 給食費引落
9	土	土曜授業・給食無 セーフティ教室12 1年授業公開
10	日	
11	月	生活科秋探し12 低フォ
12	火	避難訓練 フォ
13	水	委員会活動(前後期入れ替え)
14	木	プラネタリウム6 生活科秋探し12 HS
15	金	社会科見学3
16	土	
17	日	
18	月	低フォ
19	火	たてわり班 教育実習終 フォ
20	水	クラブ活動
21	木	あまぬままつり
22	金	あまぬままつり
23	土	
24	日	
25	月	読書旬間始 低フォ
26	火	生活科見学2 フォ
27	水	
28	木	HS
29	金	
30	土	
31	日	

学校支援本部コーナー

天沼小学校支援本部(あまぬまワンダラーズ)の活動を紹介します

ゲストティーチャーってどんな人? (パート1)

子どもたちが本物に触れる授業を受ける時に欠かせないのがゲストティーチャーの皆さんです。コロナ禍でも様々な工夫をして、子どもたちのために、授業をしてくださっています。そして、ゲストティーチャーと学校を結ぶお手伝いを、私たち学校支援本部(AW)のコーディネーターが行っています。パート1の今回はキャリア教育やその他の教科の授業にご協力いただいている方々を一部ご紹介いたします。



- 3年生 「杉並の農業のお話」 JA東京中央の方々
- 4年生 「地域安全マップ作り」 東京青年会議所杉並区委員会の方々
「障害のある方々との交流学習」 美月めぐみさん・鈴木大輔さん
- 5年生 「AKP」 田貝大孝さん、品評会審査員の方々、
セブン&アイホールディングス伊藤研修センターの方々
- 6年生 「裁判について」 小関利幸先生 「命の授業」 高森拓也先生

是非ご家庭でも本物に触れた学習や体験について、お話しいただけたら嬉しいです。(次号パート2へ続く)

学校運営協議会コーナー

8月30日(月)14:00～16:00まで、サマーワークショップ2021を開催しました。

緊急事態宣言が継続され、オンライン開催となりましたが、保護者、教職員、地域関係者57名の参加がありました。

今年度は、子どもたちを育てるために、学校・保護者・地域が協力し合って取り組む目標として、以下の内容を提案していますが、この提案をした理由をお話し、その後、各々の立場で何をすればよいか、情報交換を行いました。

とても有意義な話ことができました。

ご報告については、家庭数で配布いたしましたが、天沼小学校ホームページ「学校運営協議会【CS】」にも掲載していますので、ぜひご覧ください。

低学年「しっかりあいさつしよう！」

中学年「相手のことを思いやろう！」

高学年「社会のできごとについて話し合おう！」

令和3年度杉並区『特定の課題に対する調査、意識・実態調査』の結果・考察

■平均正答率

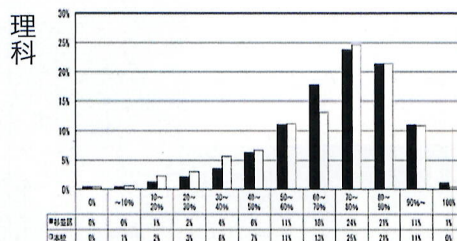
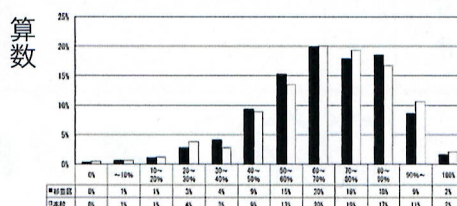
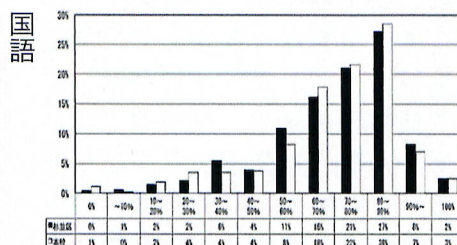
(3年以上、理科は4・5・6年のみ)

	平均正答率	杉並区	本校
国語	教科全体	70.1	70.0
	基礎	79.1	79.0
	活用	55.5	55.5
	知識・技能	78.7	78.6
	思考・判断・表現	68.3	68.3
算数	教科全体	66.3	67.0
	基礎	80.2	80.7
	活用	36.6	37.7
	知識・技能	81.3	81.8
	思考・判断・表現	41.6	42.7
理科	教科全体	67.4	65.4
	基礎	76.9	75.2
	活用	45.4	42.5
	知識・技能	76.9	75.2
	思考・判断・表現	45.4	42.5

《正答率分布状況》

杉並区

本校



国語・算数・理科の各教科の平均正答率は、区平均程度となっている。

国語では、領域「読み」にかかわる問題で、区平均を下回ることがあった。段落の内容を要約したり登場人物の心情を捉えたりする学習では、自分の考えを表現することに加え、友達と考えの交流をしたり、その中で自分の考えの根拠を明確にしたりすることで読解力の向上を図っていききたい。

算数では、活用問題で区平均を下回ることがあった。自分の考えの根拠を明確にす

る、見通しをもって筋道を立てて考えるなど、課題や問題を解く過程での算数的活動の充実をはかり、さらに表現力を高められるようにする。

理科では、領域「地球」にかかわる問題で区平均を下回ることがあった。科学的な視点で自然の事象・現象を捉えることや自然や身の回りの環境に関心や意欲をもって関わること、実験観察を通して知識を確実に理解し活用することなど、授業を通して児童に習得させていきたい。

学習・生活についてのアンケートについて

「自分の学級は、だれにとっても居心地がよくなるよう、いろいろなルールやきまりを話し合ってきたことができる」について区の平均肯定率を上回っていました。自分たちで学校での生活を考え、工夫していく姿は、学校行事や特別活動（委員会、たてわり班）などでもよく見られています。

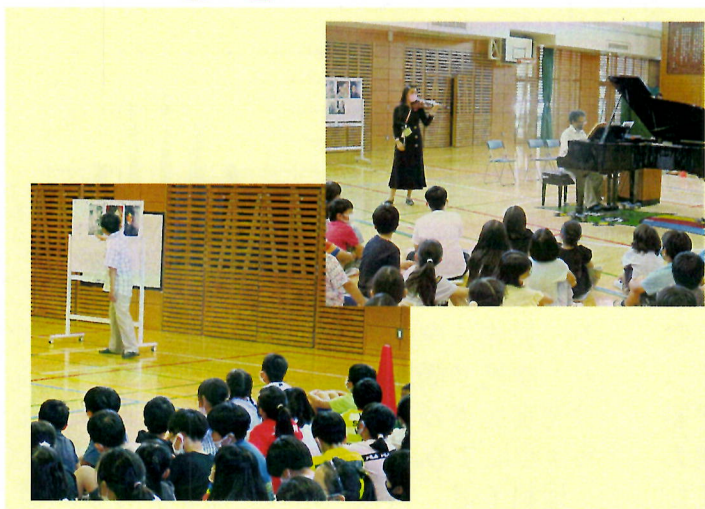
反対に、「授業では、自分が分かることやできることをもとに友達を助けてあげることがよくある。」「授業では自分だけでどうしても分からないことやできないことがあるとき、友達から教えてもらうことができる。」では、区の平均肯定率を下回りました。学校での様子を見ていて、子どもたち同士教え合ったり助け合ったりする姿を見ることはありますが、この状況下で、児童は以前より交流活動に消極的になっているのではないかと考えられます。

夏休み作品鑑賞会

8日(水)～10日(金)に夏休み作品鑑賞会を行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、各学年・各学級での開催となりました。夏休みに観察した虫や植物の記録や、自分で工作したゲーム等、さまざまな作品が展示されていました。それぞれの学年、学級で友達の作品を鑑賞し、来年度の自由研究に向けて意欲が高まった様子でした。



オリパラ教室について



9月21日(火)には、天沼小学校の校歌の作詞を担当した谷川俊太郎さんのご子息であり、作曲家・ピアニストでもある谷川賢作さんをゲストティーチャーに招き、お話を伺いました。

ピカソの自画像をもとにアーティストの成長や発展について学んだり、子どもたちにとってなじみのある曲をマーチ、スイング、ワルツ、ラテン等曲調を変えながら、「編曲＝アレンジ」という作業によって1曲の表情が変わる楽しさを体験したりしました。



安全確保につながる運動について

6年生は水泳指導の一環として「安全確保につながる運動」の学習を行います。本来であれば、実際に服を着てプールに入り、水着との違いを体感する「着衣水泳」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防のため教室で学習しました。

水難事故は命に関わる大きな事故になりやすいです。自分が水の事故にあった時、事故がそばで起こった時にどうすればいいのかをタブレットを使い、動画を見たり、クイズをしたりして学んでいきました。「無理して泳がずに浮いて助けを待てばいいと分かった。」「ペットボトルやランドセルなどの身近にあるものが浮くものとして役に立つことを知った。」「自分では助けずに、近くの人を呼ぶようにする。」「浮き方や逆平泳ぎを来年のプールで練習したい。」と多くのことを学んでいました。今後、海や川で遊ぶ際には、危険があることを知った上で、自分の身を守り、保護者の方々と一緒に楽しく遊んでほしいと思います。